

# 令和6年度第1回家庭教育ファシリテーター養成講座 開催報告

日時 令和6年5月16日(木)14:00~16:30

会場 滋賀県庁東館7階大会議室

参加人数 34名

- 内容
- 説明:学習講座、お話サロンの進め方について  
「ファシリテーターの役割を理解しよう！」
  - 情報提供:「インターネットと子育て」について
  - 演習①:「気軽に話し合える雰囲気をつくろう!~アイスブレイクpart1~」
  - 演習②:「ファシリテーター役となり、話し合いを進めよう！」



## 当日の様子

### 【 説明・情報提供 】



### 【 演習① アイスブレイク 】



### 【 演習① アイスブレイク 】



### 【 演習② ワークショップ 】



## 【参加者の感想より】

### 説明・情報提供について

- ファシリテーターの役割や意義など、知っているようで知らなかったことを知識として得られました。今回の学びを学校現場で活かすとともに、学校と家庭、学校と地域の結びつきに向けて活かしていきたいと思います。
- ネットについての情報は、小学校でもテーマにあげて講座を開催したいと思います。
- 子と親と一緒に何かをする時間をもつことで、スマホを置いておくことにつながったり、親子の信頼関係ができたりと、やっぱり会話できる機会をつくるのが大切だと思いました。
- 「子どもの意見、思いを受け止めてから親としての気持ちを伝える」という話がありました。自分もそうですが、相談に来られる保護者の方に伝えたい話だと思いました。
- 子どもは学校等でスマホ・インターネットについて学ぶ場がありますが、親はこのようなことを学ぶ機会がありません。PTAでも親育てがテーマになっており、学ぶ機会を増やすことが大切だと思いました。

### 演習①アイスブレイクについて

- 話を進める上で、アイスブレイクの大切さをすごく感じました。いろんなパターンのアイスブレイクに挑戦して、心が和む雰囲気を作っていきたいです。
- 保育参加の前に座談会をするので、アイスブレイクを使って保護者の方が話しやすい雰囲気作りをしていきたいと思います。
- 高校教員として勤務する中で、授業の導入やLHRの進行などでアイスブレイクを取り入れてみようと思います。
- アイスブレイクから始めること、思いをしっかりと聴くこと、楽しい雰囲気をつくりながら、子どもたち、保護者とかかわっていききたいと思いました。

### 演習②ファシリテーター実習を通して

- いろいろな立場の方と体験談であったり、それぞれの思いを出し合って、共感できる部分もたくさんあり、とても充実した時間でした。
- 話が尽きませんでした。初めて出会ったこの4人グループで、これだけ話ができるとは思いませんでした。この雰囲気、環境作り、目には見えない心で感じる空気の大切さを感じることができました。この4人はすでにもう友だちです。
- 個々のお話をこれだけしっかり聴けること、また各々が思いを伝えられることは素晴らしいと感じました。また続けて参加したいと思います。
- みんなが話を聞いてお互いを受け入れてくれていたので、とても話しやすかったです。解決策は出なくても、話し合うことが大切だと感じました。
- 時間配分の難しさ、全員の意見をしっかりと聴くことの重要さを知りました。
- 一人ひとりの話す量や熱量などを上手くコントロールしていくことも必要だと思いました。支援側としても親個人としても大変勉強になりました。
- ファシリテートの難しさを改めて感じました。傾聴することの大切さや、それが交流や学びを深いものにすると気づかされました。
- テーマごとに進めようと思っていても、話しているうちにグダグダになってしまいます。テーマ、進行の仕方等をしっかり頭に入れ、ある程度の全体像を考えながら進行しなければと思いました。
- 不登校の保護者支援で月1回保護者会をやっています。今日学んだことも活用したいと思います。
- 4月から親どうしのつながり座談会を開始しました。改めて、ファシリテーターの役割の重要性を確認させていただきました。
- 今後、保護者対応に活かしていきたいです。様々の年齢の方がいて、いつもは教員ばかりですが、立場の違う人と交流や意見交換ができてよかったです。本校のPTAの方々ともこのような会を持つのもいいかもしれないと思いました。